

職長会が発足

現場の職人の声を代弁し情報発信

組合ではこのほど、会員各企業から推薦のあった20代から40代の職長をメンバーとする「職長会」を発足させました。この職長会は、鉄筋工として現場の第一線で働く職人の声を代弁し、ものづくりに対する彼らの思いを広く情報発信していくことをめざしたものです。

メンバーは、代表幹事の伊藤崇さん（田村工業㈱、40歳）をはじめ守田真也さん（正栄工業㈱、31歳）、松崎修二さん（㈱田浦、30歳）、中村優さん（㈱中铁、27歳）の4名でスタートします。

9月4日に行われた「職長会発足式」には、伊藤さんら4名の職長とともに、組合から岩田理事長、戸田副理事長、初岡副理事長、田浦副理事長の正副理事長らが出席しました。

この中で挨拶した岩田理事長は、職長会の趣旨として鉄筋工事業界の「次の世代のために何ができるかを考える場としたい」と説明。そして「現場で働く職人の代弁者として仕事上の問題点や課題など、彼らの生の声を聞いてまとめてほしい。我々はそれを広く情報発信していくことで、現場の意見を反映させていきたい」と職長会の今後の活動に期待を寄せました。これに対し、伊藤さんらの職長は「職長会のメンバーに選ばれたことを自覚し、しっかり勉強して職人の声を聞いてやりたい」と決意を示しました。職長会は今後適宜開催し、メンバーも増やしていく予定です。